



歌川広重「木曾街道六拾九次之内 洗馬」

Topics

—東海道・木曾街道—広重 二大街道浮世絵展  
「イギリスの美しい本」展

スターよ永遠に 追善浮世絵展

浮世絵に見る薬と病い

美術館ボランティアが選ぶ 千葉市美術館コレクション展

# 「イギリスの美しい本」展 Beautiful British Books

最近では、製本工芸の仕事に魅せられ、工房や教室で学ぶ人たちの姿も見られますが、一般に本の装丁といえば、日本では、読書家の楽しみの一つでもあるブックデザインの仕事をイメージする方が多いのではないのでしょうか。書店の平積みコーナーでは、中身を知らなくても、思わず手にとりたくくなるような素敵な本と出会うことがあります。ヨーロッパでは長い間、印刷と製本は別の仕事でした。本は仮綴じの状態の販売され、購入後に好みで製本し直されます。贅沢な装丁が施された本は、持ち主の力を示すもの。その後、いち早く産業革命を成し遂げたイギリスでは、19世紀の半ばには出版元による機械製本が実現し、出版ブームを支えることとなります。日本での洋本の歴史も、版元製本が一般化したこの時代に始まります。多くの方が本を手にするためには不可欠な機械化・大量生産でしたが、これにより美しい本の伝統や文化が失われてゆくことを危惧したウィリアム・モリスたちによって、プライベート・プレス運動がおこり、工芸復興運動の中で製本の仕事も見直されるようになりました。

美術製本の仕事は、オーダーメイドの服作りに似ているかもしれません。素材やデザイン、作りのすばらしい服は、着る人を輝かせますが、衣服には前提として、包み込む身体を保護する役割があります。着る人の身体を痛めたり、外部の刺激に対して無抵抗の服は、本来服とは言えません。製本装丁の仕事も同じで、いくら見かけが美しくても、表紙を閉じて自立しない本や開きの悪い本は、本としての前提が問われます。完璧に機能しながら、テキストの世界を何倍も豊かにし、持ち主が本を手にする喜びをつくり出す、製本装丁家には、本の内側と外側をつなぐクリエイティブな表現者であるだけでなく、優れた技術者であることが求められます。

日本では、「ルリユール」と呼ばれるベルギーなどフランス語圏の製本に比べて、イギリスの製本文化はあまりなじみがないかもしれません。今回展示の後半部分でご紹介する現代イギリスの装丁作品ですが、独創的でカラフルなデザインと、そこで駆使される高度なテクニックをご覧いただきたいと思っています。(学芸員 山根佳奈)



デザイナー・ブックバインダーズによる装丁

「クイーン・サマー、あるいは百合と薔薇の騎馬試合」  
(ウォルター・クレイン)、1891年 栃木県立美術館



「イギリスの美しい本」展図録

## 「イギリスの美しい本」展の美しい図録

革のような手触りの紙に3つの「B」が箔押しされた表紙。伝統的な革装の特徴をエンボスで再現した背のふくらみ。ここにもまた、本をつくる人の思いがあります。

会場には、時間とお金を惜しみなくつぎ込んだ美しい本が並んでいますが、それらは、時間もお金も厳しい制約下にある展覧会図録の制作現場とは対照的な環境から生み出されたものといえます。そのような厳しさの中、今回、制作者がこだわりを見せた装丁は、手に取ったときの手触りやたたずまいを含めて、その本と読者との出会いを左右する重要な要素です。

この展覧会をとおして、読むだけでなく、本の味わい方、奥の深い楽しみ方を見つけていただければと思っています。

### 「イギリスの美しい本」展

2006年7月22日(土) — 8月27日(日)  
10:00—18:00 (金曜日・土曜日は20:00まで)

\*入館受付は閉館の30分前まで

[休館日] 8月7日(月)

[観覧料] 一般 800 (640)円

高校・大学生 560 (450)円

小・中学生 無料

\* ( )内は団体30人以上の料金



「八代目市川団十郎の死絵(見立涅槃図)」(図1)



「三代目尾上菊五郎の死絵」(図3)



「しうかなごり文(初代坂東しうかの死絵)」(図2)

## 死絵と画中画

江戸時代後期～明治期にかけて、歌舞伎役者が世を去ると、その姿を表して死去を報じる浮世絵版画、「死絵」が盛んに出版されました。役者の他、歌舞伎の関係者である浄瑠璃の太夫、一部の浮世絵師、相撲の力士らを描いたものも確認できます。現代でいえばスターの追悼写真集や雑誌の追悼特集といったところでしょう。

「八代目市川団十郎の死絵(見立涅槃図)」(No.123, 図1)は涅槃図の構成をとっています。八代目団十郎は人気絶頂の嘉永7(1854)年8月に32歳という若さで謎の死を遂げたため膨大な数の死絵が出版されました。嘆き悲しむ女性の中に死絵らしきものを手にしている人もいます。速報として出版されたものを早速買い求めたということなのでしょう。死絵の中に死絵があるということになります。

死絵は掛け軸、額といった肉筆画の形式を真似て描かれることがありました。「三代目尾上菊五郎の死絵」(No.21)「五代目市村竹之丞の死絵」(No.132)「四代目中村歌右衛門の死絵」(No.133)などは画面全体が掛け軸といったつくりで、賛のように追悼の句が記されています。

「しうかなごり文(初代坂東しうかの死絵)」(No.139, 図2)は画面の中の掛け軸にしうかの顔と辞世の句(といっても急逝したしうかには辞世の句を読む余裕があったとは思えず、偽作なのでしょう)が見えます。その前に煙が立ち上る香炉と脇に花生けがあり、掛け軸のしうかの肖像を飾った室内を描いているのです。

掛け軸の肖像で死者が表され、その前にゆかりの人物を描く構成も死絵にはよくみられます。「八代目市川団十郎

の死絵」(No.137)では団十郎の大きな肖像画の前で年齢も身分もさまざまな女性たち(尼僧、遊女、子供を抱えた母親、童女など)が嘆き悲しんでいます。下のほうでは猫(たぶん雌猫)まで涙を流しています。

ゆかりの人物が後継者であればそこには芸の継承といった意味も読み取れます。「三代目尾上菊五郎の死絵」(No.131, 図3)で菊を一輪手向けて水を注いでいるのは娘婿の四代目尾上梅幸(後の四代目菊五郎)です。菊は菊五郎にちなみ、菊五郎という名跡の芸を受け継いで育てていくという認識が、画家にも死絵の購入者、鑑賞者にも共有されていたのでしょう。文化12(1812)年に没した四代目瀬川路考や四代目沢村宗十郎の死絵にもすでに同じような構成がみられますが、そこでは死者が画中の掛け軸の人物から正統な芸を受け継いだことが示され、画中画の肖像が小さいのに対して死者は比較的大きく描かれていました。画中画の像主が死者で、その前に後継者がほぼ対等な大きさで表されるのは天保9(1838)年に没した中村玉助(三代目中村歌右衛門)あたりからのようです。

画中画に描かれた人物と画面の人物の間にコミュニケーションが成立している場合もあります。「初代岩井杜若(五代目岩井半四郎)の死絵」(No.130)の杜若と前に座る三代目岩井半四郎(後の八代目半四郎)は互に見つめ合っています。死者と生者の語らいということになります。死絵を鑑賞者が見るという行為も死者と生者との対話であることが思い出されます。「四代目中村歌右衛門の死絵」(No.134)では、右上の四角窓から先に死んだ五代目市村竹之丞が文字通り手を出して、歌右衛門に水袴(死者の装束)を着せようとしています。舞台上の名コンビで、死んだ時期が近く、月は違うものの同じ日が命日の八代目市川団十郎と坂東しうかは死絵でも名コンビですが、しうかの死絵にも掛け軸の中から八代目団十郎がしうかの手をとる、画中画としての面白さを感じさせる作品があります。画面の枠を乗り越えるという点で、描表装から抜け出るように描かれる幽霊画と同様の構造です。

死者の姿を表すというその性格上、縁起が悪いとしてあまり取り上げられてこなかった死絵ですが、絵の面白さという点でも、お楽しみいただければ幸いです。

(学芸員 伊藤紫織)

## スターよ永遠に 追善浮世絵展

2006年7月22日(土) — 8月27日(日)  
10:00—18:00 (金曜日・土曜日は20:00まで)

\*入館受付は閉館の30分前まで

[休館日] 8月7日(月)

[観覧料]	一般	200 (160)円
	高校・大学生	150 (120)円
	小・中学生	無料

\* ( )内は団体30人以上の料金

# 歌川広重

—東海道・木曾街道—

## 「広重 二大街道浮世絵展」

浮世絵版画の初摺、後摺って何？—「東海道五拾三次之内 蒲原」を例に—

9月5日から始まる浮世絵展は、「東海道五拾三次」と「木曾街道六十九次」の初摺のセットで構成されています。特に「木曾街道」では、新発見の、幻の、英泉落款入りの二図が出品されます。初摺、後摺という言葉を目にしたことのある人は多いと思いますが、具体的にはどこが違うのでしょうか。今日出品される作品を例にして、わかりやすく解説してみましよう。

初摺とは、文字どおり版が作られてから早い時期に摺ったものという意味であり、後摺とは、かなり時がたってから摺ったものという意味です。何枚までが初摺で何枚からは後摺とか、そういう厳密な区別はありませんし、できません。似た言葉に、初版、後版というのがあります。最初の版、後の版(版木自体を全部又は一部変更しているもの)という意味です。初版初摺(最初の版でかつ早い時期に摺ったもの)という言い方もあります。話を単純にするために、ここではすべて初版(第一版)を前提にしていると考えて下さい。

「東海道五拾三次」は、広重の出世作ですが、なかでも最も知られた一図に「蒲原」があります。今回、「蒲原」は初摺と後摺の二点出品されます。Aが初摺でCが後摺です。Bは千葉市美術館所蔵品です。A・B・Cを比べてみると、誰でも気づくのは、空のぼかしが、Aは上から下にぼかし下げられている(天一文字ぼかしといいます)のに対し、B・Cは下の方から上にぼかし上げられていることです。しかしこれは、全く同じ版木を使って、摺師が、Aにも、B・Cにもできることであり、版木自体を変える必要がないので、

厳密には、これだけで摺られた作品の早い遅いを判断することはできません。しかし、よく見ると、瓢箪形の「夜之雪」の部分で、Aは、背景の薄墨部分の上に重ねて摺られているのに対し、B・Cは、背景の薄墨部分が瓢箪形にくりぬかれていることに気づきます(A1・B1・C1参照)。したがって、夜空の雪の版自体を改変したことになります。おそらく、薄墨の上に重ねることによって朱印が濁ることを嫌ったのでしょう。このことによって、AがB・Cより早い摺であることがわかります。

それでは、BとCはどこが違うのでしょうか。三人の人物のうち、一番右の人の足をよく見て下さい(A2・B2・C2参照)。AとBには膝頭ひざがしらと脛すねの一部に浚い残しのあとがありますが、Cにはありません。浚い残しに気づき、のみで浚ったのがCということになります。丁寧に浚わなかったために、Cでは、右足の膝頭の線が一部切れてしまったことがわかるでしょうか。これによって、CはBより更に後の摺ということが判明します。

A・B・Cは、「蒲原」の摺の違いを代表するものですが、細かく見ていくと、いろいろなレベルに細分することができます。初摺・後摺は存外やっかいなのです。浮世絵のコレクターは、通常、初摺を好みますが、初摺が後摺より絶対的な価値を持っているわけではありません。

皆さんは、Aのように、上からぼかし下げられた作品と、B・Cのように下からぼかし上げられた作品のどちらが好きですか。

(学芸課長 浅野秀剛)



(A)



(B)



(C)



(A1)



(B1)



(C1)



(A2)



(B2)



(C2)

## 街道絵の楽しさ

浮世絵の風景画には、江戸や各地の名所を描く名所絵と、東海道や中山道(木曾街道)などの街道に取材する街道絵(道中絵ともいいます)の、2種類があります。

名所絵は、北斎の「富嶽三十六景」や広重の「名所江戸百景」のようなシリーズ物でも1図ごとに独立して鑑賞するのが普通ですが、街道絵の方は、宿場の順序を追って見ていくように描かれているようです。

たとえば広重の代表作である保永堂版「東海道五拾三次之内」に例をとって見てみましょう。

まず第1図の「日本橋」には、「朝之景」の副題が付いていて、東の空が白み始めたばかりの早朝に旅立ちをする大名行列の先頭と、魚河岸で新鮮な魚を買ったばかりのいなせな人々が登場しています。そして第2図の「品川」は、先の大名行列なのか列のしんがり宿の入り口を通り過ぎるところで、副題には「日之出」とあります。すっかり明るくなり、泊まり船が次々と帆を上げて、江戸湾海上も賑わいを増しているようです。そして次の「川崎」の図では六郷川の渡し舟、第4図の「神奈川」ではふたたび海上の船と、海、川、また海というように変化をつけているのです。

旅をしていて気がかりな気象の変化はどうでしょう。第44図の「四日市」では強風、おだやかな「石薬師」の田園風景をはさんで第46図の「庄野」では有名なわか雨(副題は「白雨」)、そして次の「亀山」では雪晴れの後のまばゆい光景が開けています。

一方、渓斎英泉が起用され、後に広重が参加することになる「木曾街道」(広重は「木曾海道六拾九次之内」)のシリーズでも、同様な工夫の跡が偲ばれます。

英泉が担当した発端の諸図では、次のように続きます。まず「日本橋雪之曙」では日の出とともに賑わう橋の上の雑踏、第2図はひなびた「板橋之駅」、そして戸田川を渡る渡し舟を描いた「蕨之駅」、さらに「浦和宿」では浅間山を遠望し、「大宮宿」では遠景の富士山に別れを告げています。都鄙の繁閑の落差と江戸地続きの岸から離れる川越え、浅間、富士の二つの霊山を続けて取り上げているところなど、続き絵としての変化が意識的に演出されていることは明らかです。

連歌や俳諧で、前後との関連を意識しながら次々と付け句をつけていくように、街道絵においても、連続と非連続、緊張と弛緩の味加減をたっぷりと利かせながら、浮世絵師たちはみな工夫を凝らしているのです。

江戸時代の人々にとって、旅に憧れはしたものの、実際に家を離れることはさぞかし難しかったことでしょう。現在の私たちがテレビの旅番組を楽しむ以上に、浮世絵版画の街道絵によって、あつい旅への思いを慰めたのでした。遠い昔の中国の文人は、水墨の山水画によって家に居ながら自然に遊ぶことを、「臥遊」といって尊んだものでした。それと似て江戸の庶民は、安い版画の街道絵を見ながら、空想の旅を楽しんだものでした。(館長 小林忠)



歌川広重「東海道五拾三次之内 池鯉鮒」



歌川広重「木曾街道六拾九次之内 中津川」



渓斎英泉「岐蘇路ノ駅 本庄宿」

## —東海道・木曾街道— 「広重 二大街道浮世絵展」

2006年9月5日(火) —10月9日(月・祝)  
10:00—18:00 (金曜日・土曜日は20:00まで)

\*入館受付は閉館の30分前まで

[休館日] 10月2日(月)

[観覧料]	一般	800 (640)円
	高校・大学生	560 (450)円
	小・中学生	無料

\* ( )内は団体30人以上の料金

# 千葉大学附属図書館亥鼻分館所蔵 「浮世絵に見る薬と病い」展

浮世絵に見る薬と病い

樋口誠太郎

いつの時代に於いても人びとの共通の願いに「不老長寿」ということがあります。

富を得た人も、そうでない人もそれぞれに「病気をしないで長生きをしたい」と思うのは、共通の願望でしょう。どんなに富を貯けてもそれで寿命を買うことはできません。

人は病気になったら医師に診てもらおうということは、今では当然のことですが、人の長い歴史の流れを見ると「病い」にかかったらすぐ医師の診断・治療を受けることはできなかったようで、ここに蒐集されたものでも医師を紹介したものはほとんどありません。反面「薬」を紹介したり、病気を治療する呪いの方法などを紹介するもの、神仏に祈願して病気を治すなどというのはいろいろと見られ当時の庶民生活の中では薬を買って服用して病気を治すという時代が長く続きました。

江戸時代の後半期から西欧の医学が日本に入って来て、それまでの中国伝来の医学から「日本医学の近代化」が推進されました。これまで仏教思想の影響を受けて解剖などということをも認めなかった幕府役人も医学の発展のために解剖を許可せざるを得なくなりその成果がここに展示されているような解剖図の作成となっています。有名な杉田玄白の『解体新書』は浮世絵ではありませんが本学所蔵の貴重な医学書として展示されています。

千葉大学附属図書館亥鼻分館に蒐集されている江戸時代の「病い」に関する浮世絵を見ると、当時最も庶民に恐れられたのは痘瘡(天然痘の漢語的表現)、水痘(みずぼうそう、子どものかかる急性伝染病の一種)等であって、自分の家の前に伝染病をもたらすと信じられた「痘鬼神」を追い払う「武者絵」を貼ったり「呪符」を貼りました。また「痘瘡」「麻疹」「水痘」を人間一生の大厄としてその治療上の注意事項を示したもの等々があります。

また薬には家伝秘宝金生丹の宣伝に見られるように人気絵師豊国が描き、その効能は人の全ての病気に効能を示すように書かれているものもあります。

女性の妊娠・出産について注意などを文字よりも絵で教えたものが当時はかなり普及していたようです。

江戸時代後半期になると、前にも触れたように医師の人体解剖への関心が高まり同時にその結果を記録したのも残されました。当時解剖された人体は刑死人(男・女とも)だったので首の部分が無いのが特色で、首は胴と別に解剖されています。わが国最初の観臓解剖書で宝暦9年(1759)京都で山脇東洋が刊行した『藏志』(乾・坤)は、医学史上特筆すべきもので杉田玄白の『解体新書』翻訳刊行に大きな影響を与えたものとして、当会場にも展示されています。  
(日本医史学会評議員 本展監修者)



五雲亭貞秀「痘瘡、麻疹、水痘」



鮮斎永濯  
「樂善堂三藥 補養丸、鎮溜飲、穩通丸、精錡水」



歌川国芳「通俗三国志之内 華陀骨解刮関羽筋療治図」



小田野直武写「解体新書」5冊

## 千葉大学附属図書館亥鼻分館所蔵 「浮世絵に見る薬と病い」

2006年9月2日(土) — 10月29日(日)

10:00—18:00 (金曜日・土曜日は20:00まで)

\*入館受付は閉館の30分前まで

〔休館日〕 9月4日(月)、10月2日(月)

〔観覧料〕 一般 200 (160)円

高校・大学生 150 (120)円

小・中学生 無料

\* ( )内は団体30人以上の料金



## 10.17 (火)～12.3 (日) 美術館ボランティアが選ぶ 千葉市美術館コレクション展

わたしは、ボランティアとして、この展覧会づくりに参加しています。  
Q&A 形式で『美術館ボランティアが選ぶ 千葉市美術館コレクション』展のことをお伝えします。

— Q1 美術館ボランティアってなあに？

A1 美術館が大好きな 35 人が、市民と美術作品の間に立って、鑑賞のための橋渡しをするため、ギャラリートーク、小学生向け鑑賞教育などの活動をしています。「モットーは美術館を楽しもう！」です。

— Q2 どんな展覧会になるの？

A2 わたしたちボランティアの自由な発想とアイデア、熱い思いで、大胆な展示やイベントなどを企画しています。市美術館が所蔵している 7,000 点以上の美術品から、専門家とは一味違った美術ファンの目で、とっておきの名品を選び、みなさんと感動を共有したいと、強く願っています。

— Q3 作品はどんなものが、展示されるの？

A3 ボランティア全員で投票し、50 点ほどを選びました。例えば、市美術館が世界に誇る喜多川歌麿「納涼美人図」をはじめ、棟方志功の“二菩薩釈迦十大弟子”、円山応挙の水墨画屏風“秋月雪峡図”など魅力的な作品、江戸時代から現代までの素敵な作品が並びます。

— Q4 詳しいお知らせは、いつごろ出るの？

A4 9 月半ばにはポスターがお店や公民館などに張り出され、チラシが用意されます。期間は、10 月 17 日から 12 月 3 日までです。美術館のホームページもご覧ください。

— Q5 市民にぜひ伝えたいことは？

A5 美術館を身近なもの、親しめるものと感じていただければ大きな喜びです。多くの方に「こんなにもある名品—市民のお宝」を楽しんでいただきたいと思います。ご期待下さい。

〈右上〉  
喜多川歌麿  
「納涼美人図」  
寛政期(1789-1801)

〈左上〉  
ボランティアの活動風景

〈左下〉  
鍋本清方  
「薫風」  
大正7年(1918)頃

## NEWS

### ミュージアムショップ7階にリニューアルオープン！

千葉市美術館ミュージアムショップが、1階エントランス脇から7階展示室出口前に移転しました。新しい店内では、明るくて清潔感あふれる白い壁に、魅力的な品々が美しくディスプレイされています。展覧会に関連したグッズのほか、日本情緒あふれる商品の品ぞろいも豊富で、外国へのお土産や親しい方へのちょっとした贈物をお求めになる方にもおすすめです。

リニューアルオープンにあわせて、千葉市美術館の所蔵作品を使ったオリジナル商品(絵はがき 32 種:90 円、クリアファイル 4 種:315 円、ミニクリアファイル 4 種:262 円)も追加発売されました。



## 千葉市美術館がより利用しやすくなりました

月曜日も美術館は開館します(第1月曜日を除く)

月曜日も美術館は休まず開館いたします。

※ただし月の初めの第1月曜日のみ休館となります。

※市民ギャラリーは、展示替えのため休室となることがあります。

《休館日》 毎月第1月曜日 年末年始(12月29日—1月3日)  
(展示替え期間中は、展示室は休室となります。)

土曜日の夜も美術館は開館します

金曜日に加え、土曜日も午後8時まで開館いたします。

※金曜日・土曜日が祝日の場合も午後8時まで開館いたします。

《開館時間》 月曜日—木曜日・日曜日 午前10時—午後6時  
金曜日・土曜日 午前10時—午後8時  
(入館受付は閉館の30分前まで)

小・中学生の展覧会観覧料が無料となります

小・中学生に限り、展覧会観覧料が常時無料となります。

※無料になるのは、千葉市美術館が主催する企画展と所蔵作品展です。

## 市民美術講座のお知らせ

「市民美術講座」は、市民のみなさまに千葉市美術館のコレクションを紹介し、作品についての理解を深めていただくものとして、2004年度より実施しております。

今年度は近世から現代まで、さまざまな時代のアーティストたちについて当館スタッフが毎回わかりやすく解説します。参加は無料、参加資格は「好奇心」です。

第3回 8月26日(土)

「歌川広重—木曾街道六十九次物語—」

講師:浅野秀剛(本館学芸課長)

第4回 9月23日(土・祝)

「竹久夢二—近代のマルチ・アーティスト—」

講師:西山純子(本館学芸員)

第5回 10月28日(土)

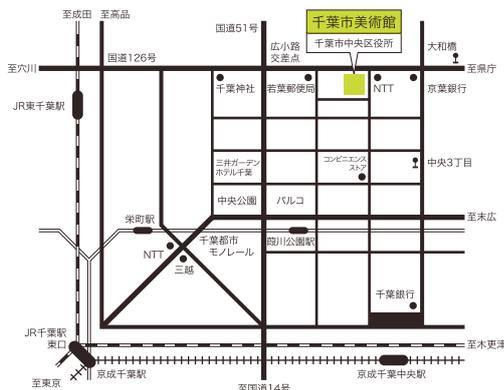
「斎藤義重—現代美術をひらく—」

講師:藁科英也(本館学芸員)

時 間:午後2時から(開場は30分前)

場 所:千葉市美術館 11階講堂

定 員:150名(入場無料・先着順)



| 交通案内 |

◎ JR 千葉駅東口より徒歩約 15 分

・千葉都市モノレール県庁前方面行「葭川公園駅」下車徒歩5分

・バスのりば7番より大学病院行、または南矢作行にて「中央3丁目」下車徒歩2分

◎京成千葉中央駅東口より徒歩約 10 分

◎東京方面から車では京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ  
貝塚 IC 下車国道 51 号を千葉市街方面へ約 3km 広小路交差点近く

◎地下に駐車場があります

 **千葉市美術館**  
Chiba City Museum of Art

【編集・発行】

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央 3-10-8

TEL. 043-221-2311 FAX. 043-221-2316

Chiba City Museum of Art

3-10-8 Chuo, Chuo-ku, Chiba 260-8733 Japan

<http://www.ccma-net.jp>

【発行日】2006年7月31日

【印刷】半七写真印刷工業株式会社